

HOT TOPICS 02

伊藤園と高萩市 災害時の 飲料供給で協定

総務課 総務グループ ☎23-2119



大地震や風水害などの大規模災害発生に備えて、高萩市は7日、大手飲料メーカー「株式会社伊藤園」と「災害時における救援物資の提供に関する協定

締結しました。災害で市内のライフラインが絶たれた際、市の要請に応じて飲料水を優先的に供給するほか、災害対応型自動販売機の在庫商品を無償提供する内容です。市役所で行われた調印式には同社茨城地区営業部の田口和夫部長、松下明之日立支店長が出席。協定書を取り交わして田口部長は「県内で常時8万～10万ケースを備蓄している。市民が安心して暮らせるよう、今まで以上に強固に連携したい」などとあいさつ。草間市長は「東日本大震災では飲料水の確保に難儀した。市民の安全・安心につながり、大変ありがたい」と話しました。

なお、同社の災害対応型自動販売機は、勤労青少年ホーム（高浜町）、サンスポーツランド高萩（下手綱）、高萩市民センター（春日町）及びリーベロたかはぎ（春日町）の4ヶ所に設置してあります。



伊藤園の田口和夫茨城地区部長から説明を受ける関係者

同社の災害対応型自動販売機の設置は県北で初。災害時の停電の際には手回し発電機を回すことで自家発電することができます。

この有料広告の収入で、まちづくり団体に助成しています。

市報たかはぎ・ホームページ 広告募集中

申込み・問合せ
市長室 秘書・広報グループ
☎23-7320

◎ 広告料

市報たかはぎ 9,000円/月～
ホームページバナー 5,000円/月～

6ヶ月連続でご契約いただくと1ヶ月分無料
さらに12ヶ月連続のご契約で2ヶ月分無料



HOT TOPICS 01

常陸国風土記勅撰1300年 5月3日・4日に 記念行事開催

経営企画課 企画政策グループ ☎23-2118

今年が常陸国風土記編纂の詔（みことり）が下されてから1300年目の節目に当たることを記念し、5月3日と4日に高萩市のさくら宇宙公園（衛星通信記念公園）と文化会館で記念祭とコンサートを開催することとなりました。

この事業は常陸国風土記に記されている「多珂郡」を構成する北茨城、高萩、日立の3市を中心に地元企業などの支援を受けて、常陸国（茨城県）の風土を育ててきた歴史、文化、食など郷土の魅力を広く発信するために開催するものです。

2月4日には、開催の記者発表会が行われ、同イベントに出演予定のオカリナ奏者の宗次郎さんと津軽三味線奏者の上妻宏光さんがイベントに対する意気込みを語りました。

◎ 記念祭

日時：5月3日（金）・4日（土）

午前10時～午後4時

会場：さくら宇宙公園（高萩市衛星通信記念公園）

内容：ステージイベント、「食」「観光」「防災」「教育」などのテーマをもとに産物を展示する各種ブースやワークショップ など

◎ コンサート

日時：5月3日（金）

開演 午後5時30分

主催：常陸国風土記勅撰1300年記念事業実行委員会

出演：松平定知、宗次郎、上妻宏光、平原綾香、ル・ヴェルヴェッツ ほか



2月4日市役所内で常陸国風土記記念事業に関する説明をする草間市長（写真中）と宗次郎さん（写真左）、上妻宏光さん（写真右）

上記ポスターの題字は書家佐川倩崖先生にご協力をいただきました。市報たかはぎでも「常陸国風土記」をPRするため、今月号から表紙に掲載することとしました。



市長随想

草間 詠

4年ぶりの企業誘致!!

今から5年前の2008年は世界にとって、そして私たちにとっても忘れられない年となってしまった。その年の秋に、ともすれば世界大恐慌となる大きな出来事が発生したからである。あのリーマンショックである。

私が市長に就任した2006年3月当時、高萩市の企業誘致の実績は過去10年間に亘って1件もなかった。バブル崩壊のシワ寄せがあったことは間違いのない。だが私は何とかこのような事態を打開すべく、職員と共に企業訪問や関係機関回りなど精力的に誘致活動を展開した。トップセールスである。

成果は予想以上に現れた。2年半で何と8区画売却出来たからである。流した汗は必ず実を結ぶことを実体験した。しかしリーマンショック後は、わが高萩市にも閑古鳥が鳴いた。経済不況のシビアさの洗礼を受けたからである。誘致実績ゼロが4年間も続いた。今年、ようやくこの長くて厳しかったトンネルから抜け出すことが出来た。市内の優良企業A社から赤浜地区工業団地の1区画(4ha)に進出の申し入れがあった。企業誘致審議会等の手続きを経て売却契約を取り交わした。

これまで高萩市では、この赤浜地区工業団地へは水を使う用水型企業を中心に誘致を行ってきた。しかし今回の企業はそれに合致しない。なぜ市ではこの企業の申し入れを受け入れたのか。その理由は、この案件が地元企業であったこと。新規雇用増が図られること。年数千万円単位で市に税金を収めてくれること。この企業が今回で市内に4度目となる工場増設を行ってくれること。さらには、企業との信頼関係強化などを考慮したからである。

残りはあと1区画(4.5ha)のみとなった。これまでの誘致活動に加えて、私が持つネットワークも最大限に活用しながら、用水型を中心に据えて誘致行動していきたい。



美しい環境づくり 花壇コンクール 審査結果

まちづくり観光課 まちづくり・商工グループ ☎23-7316



高萩市市民憲章推進協議会が主催する平成24年度美しい環境づくり花壇コンクール表彰式が2月8日、市役所仮設庁舎で行われ、参加団体23組に表彰状が贈られました。

今年は団体・職場の部9団体、小中学校9団体、幼稚園・保育所5団体が参加しました。

同協議会会長の草間市長は「大勢の参加を得、美しい花壇が街を飾りました。これからも高萩を花いっぱいにしてほしい」とあいさつし、花壇づくりを讃えました。審査を務めた柴田喜代次さんは「皆さんの努力が参考になって市民の間に街を彩る花壇づくりが広がっている」と参加者の労をねぎらいました。

審査結果

審査日：平成24年7月17日(火)・24日(火)

	第3部門	第4部門	
	団体・職場の部	小・中学校	幼稚園・保育所
最優秀賞	石塚高齢者クラブ◎ 1	君田中学校◎ 1	秋山幼稚園◎ 第一幼稚園 2
優秀賞	アラヤ地区の環境を守る会 1	高萩小学校 松岡小学校 2	
優良賞	上君田寿クラブ しらさぎ子ども会 下組子ども会 たつご子ども会 リパティ若栗・若栗 自治会(合同) 臨海学園 中央公民館 7	秋山小学校 東小学校 君田小学校 高萩中学校 松岡中学校 秋山中学校 6	松岡幼稚園 東萩幼稚園 高萩保育所 3
計	9	9	5

◎茨城県主催：第40回花と緑の環境美化コンクール1次審査への推薦団体

- ◇石塚高齢者クラブ(団体・職場の部で推薦)
- ◇高萩市立秋山幼稚園(学校の部で推薦)
- ◇高萩市立君田中学校(学校の部で推薦)